

中本健太郎選手、世界陸上男子マラソンで10位 (ワールドカップ団体銀メダル)

8月27日(土)から9月4日(日)までの9日間、韓国大邱(テグ)で世界陸上競技選手権大会が開催され、世界中のトップアスリートが集結しました。

オリンピックや世界陸上のような国際的な大会で、当社陸上部史上初の「日の丸」ユニホームを身につけて、中本健太郎選手が大会最終日の男子マラソンに出場しました。

暑さや強風など悪条件下で忍耐を要求されるレースを得意とする中本選手ですが、この日の気象条件は日本を直撃した台風が通り過ぎた影響もあって、気温・湿度・風ともに夏としては絶好のマラソン日和となっていました。このため、中本選手には不利なレースを強いられることとなりました。

世界陸上本番のレース展開は、冬場にテレビ放送されている通常のレースとは異なります。それはレースを一定のスピードで進めるペースメーカーがいらないことです。この為、前半15kmくらいまでは比較的遅いペースでレースが進みました。ただし、このような中でも、先頭集団の中では小刻みなペースの上下があったために集団から遅れる選手も多数いました。

元々、自分のペースでレースを進めることを得意とする中本選手は先頭集団の後方に位置して、先頭選手の動きに過剰に反応しないマイペースなレース運びに徹しました。

この間、テレビ中継では「自分のペースで走れる中本選手」「初マラソンから失敗したことがない中本選手」「落ち着いた走りをする中本選手」など、その安定性を評価する解説が多々ありました。

17km付近で先頭集団から取り残され一旦19位付近まで順位を落としましたが、その後も自分のペースで粘り抜き、前から脱落する選手を1人また1人と抜き、10位の2時間13分10秒でゴールしました。

レース後のインタビューでは、世界陸上にもかかわらず計画通りに走れたことを証明するかのよう、他の選手と比べ元気良く、落ち着いた受け答えが長時間できました。

また、併設して行われたワールドカップ

団体(各国の上位3名の合計タイムで競う)においても、優勝したケニアに続き見事に銀メダルを獲得しました。【堀端選手(旭化成)、中本選手、川内選手(埼玉県庁)のタイムが対象となりました。】

この大会に向けて、日本からは30名の応援団が渡航し、現地社員も含め100名に及ぶ応援体制で臨みました。また、本社講堂においてもスタート1時間前から多くの社員が集まり、中本選手の映像に向かって声援を送りました。

国際的な大会で当社から初めてのマラソン代表となった中本選手が、周囲の期待に応えるだけの走りをしてくれたことは、日本陸上界における当社の取組みを評価していただけるものだと思います。また、当社ならびにグループの従業員にとっても十分に励みになったと思います。

今回の中本選手の結果に続くよう、若い選手達も高い目標を目指して日々練習に励んでまいりたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

監督の声：

今回の世界陸上は、当社陸上部としてはじめての出場であり、陸上部としまして大きな自信となりました。

目標は8位以内の入賞でありましたが、大きなプレッシャーの中、10位の成績は非常に立派な成績ではないかと思っております。

ニューイヤー駅伝での4位入賞と世界陸上への選手輩出で喜ぶとともに、これからさらに陸上部に対する期待が大きくなってきたことに身の引き締まる思いであります。



スタート前、最後のウォーミングアップを行う中本選手



スタートラインに並び出場選手全員



約15km付近を集団で駆け抜ける中本選手

今年のチーム目標としましては、ニューイヤー駅伝で3強の一角を倒し、前回よりひとつでも上の順位を目指します。

また、来年はロンドン五輪を控えておりますので、中本選手をはじめ数名の選手でマラソンの代表獲得にチャレンジしていきたいと考えております。

非常に高い目標とは思いますが、目標達成に向けて更に努力をしております。今まで以上のご声援をよろしくお願いいたします。

山頭 直樹

◆2011年4月～2011年9月の主な戦績

日程	大会名	実績
4月 17日	西日本記録会	デスタ選手13分台で1位、北島選手もシーズン初戦で13分台。
5月 3日	延岡記録会	10000mで北島選手が安川新、久保田、中本選手が自己新
5月 13-14日	九州実業団陸上	ジュニア男子1500m、5000mで山園、小崎選手が1、2位。男子5000mで小畑選手3位。
5月 28日	ゴールデンゲームズinのべおか	5000mE組でデスタ選手3位。
6月 10日	日本陸上競技選手権	10000mで北島選手12位。
7月 3日	札幌国際ハーフマラソン	中本選手17位、平野選手39位、小畑選手51位、久保田選手110位
9月 4日	世界陸上男子マラソン	中本選手10位(団体銀メダル)